

履修上の注意(2017年度～2018年度入学者)

※科目名についてはP.学部－(12)～およびWebシラバスを参照してください。

1. ILAC(アイラック)科目0群～3群

★0群★

- a.「キャリアデザイン入門」は、1年次のみ履修可能です。
- b.「キャリアデザイン応用」は、2017年度までに「就業基礎力養成Ⅰ」の単位を修得した方は履修できません。

	2017年度までに 就業基礎力養成Ⅰの 単位を修得済み	2017年度までに 就業基礎力養成Ⅱの 単位を修得済み	2017年度までに キャリアデザイン演習の 単位を修得済み
キャリアデザイン応用	×履修できません	○履修できます	○履修できます

- c.「大学を知ろう <法政学>への招待」は、2018年度までに「法政学への招待」の単位を修得した方は履修できません。
- d.「基礎ゼミⅠ/Ⅱ」:受講学部・学科を優先するものがあるので、時間割やシラバスに注意してください。
- e.「情報処理演習Ⅰ/Ⅱ」:コンピュータを使用する実習を伴う授業のため、事前に登録(定員超過の場合抽選)が必要です。詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板等で発表するので必ず確認してください。なお、Ⅰ/Ⅱは連続履修する必要があり、事前登録後の履修登録取り消しは、原則認められていません。

★1群～3群★

- a. 1年次生がILAC科目1群～3群の科目を履修する場合は、学部・学科・クラス等の指定があります。2～4年次生が履修する場合は学部・学科・クラスの指定はありません。ILAC科目時間割を確認し、選択してください。
- b.「教養数学A・B」は2年次生以上が履修可能です。「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」は1年次生以上が履修可能です。
- c.「サイエンス・ラボA」と「サイエンス・ラボB」は実験授業のため定員制です。そのため、履修登録前に仮登録が必要です。仮登録の詳細については、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板等を参照してください。

2020年度から

【注意：履修登録期間の前に実施】

ILAC科目大人数授業の抽選実施について

本学では教育の質向上、学修環境の整備をはかり、単位制度の実質化を推進しています。学生の皆さんに適正な授業環境を提供することは、本学教育上の使命を果たす上での大前提とも言えます。

そこで、今年度(2020年度)より、以下の授業(昨年度の履修登録者数を基に選定)について、抽選制を導入します。対象授業の履修を希望する場合には、抽選ガイド(※)をよく読み、手続きを行ってください。

抽選申し込み期間・方法・抽選結果発表について

詳細は、抽選ガイド（※）を確認してください。

（※）抽選ガイドは、法政ポータルサイト Hoppii からアクセスできる Web 掲示板に掲載します。

Hoppii URL : <https://hoppii.hosei.ac.jp>

QR コード :



抽選のルール及び抽選対象授業について

抽選ルールは以下のとおりです。

- ・春学期・秋学期セット（例：以下の表の項番1）で当選とする。
- ・抽選後、定員に満たなかった場合にも、追加受け入れはしない。
- ・原則、当選した場合は春学期・秋学期授業ともに履修することとするが、やむを得ず履修を取りやめたい場合には、各学部の履修登録期間中に履修登録を削除すること。その場合、削除した科目（単位）分の履修追加が可能である（ただし、各学部の履修上限の範囲内）。※留学期間中の履修登録の対応については、学部の指導に従ってください。

抽選に申し込む際には、落選する可能性があることを十分考慮して、履修計画を立ててください。

抽選対象授業は以下のとおりです。16年度以前入学の学生は、ILAC/市ヶ谷基礎科目新旧対応表と照らし合わせ、科目名を確認してください。

項番	科目分類 (※1)	優先順位 (※2)	科目名	曜日時限	教員名	履修対象	抽選定員 (※3)
1	1群 基盤	B	外国文学A/B	水曜3時限	梁 禮先	法文営国環キ1~4年	308名
2	1群 基盤	A	東洋史I/II	月曜5時限	齋藤 勝	法1年A~N、国キ1年、 法文営国環キ2~4年	502名
3	1群 リベラル	B	日本文学と文化 LG/LH	火曜3時限	榎本 正樹	法文営国環キ1~4年	355名
4	1群 リベラル	B	日本文学と文化 LG/LH	火曜4時限	榎本 正樹	法文営国環キ1~4年	466名
5	2群 基盤	A	社会思想I/II	月曜3時限	熊沢 敏之	環1年、 法文営国環キ2~4年	400名
6	2群 リベラル	B	心理学LA/LB	水曜5時限	海部 紀行	法文営国環キ1~4年	400名
7	2群 リベラル	B	心理学LA/LB	木曜5時限	海部 紀行	法文営国環キ1~4年	466名
8	3群 リベラル	B	教養化学LA (※春学期のみ)	水曜4時限	向井 知大	法文営国環キ1~4年	400名

(※1) 科目分類について 基盤：基盤科目、リベラル：リベラルアート科目を示します。

(※2) 優先順位について A：1年次生が優先です。 B：2~4年次生が優先です。

(※3) 抽選定員は教室定員と連動しているため、今後、変更となる可能性もあります。

2. 外国語の履修 (ILAC科目4群)

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



外国語については、次のいずれかの方法で単位を修得します。なお、入学時に選択した諸外国語は、途中から他の外国語に変更することはできません。

外国語の履修は、以下のパターンAとパターンBの2種類あります。どちらのパターンでの履修を希望するか、1年次の秋学期に希望登録を行います。パターンA、Bともに、1年次の履修科目に違いはありません。希望登録についての詳細は、P.学部一(38)を必ず確認してください。

学生証番号の頭2桁が「17~18」の方

		パターンA	パターンB
1年次春学期	英語	2単位	
	諸外国語	2単位	
1年次秋学期	英語	2単位	
	諸外国語	2単位	
2年次春学期	英語	1単位	—
	諸外国語	1単位	2単位
2年次秋学期	英語	1単位	—
	諸外国語	1単位	2単位
合計		12単位	12単位

※留学生入試で入学した留学生は以下のパターンで履修します。

留学生非英語圏パターン

留学生英語圏パターン

	1年	2年	合計		1年	2年	合計
日本語	4単位	4単位	8単位		4単位	4単位	8単位
英語	4単位	0単位	4単位		0単位	0単位	0単位
諸外国語	0単位	0単位	0単位		4単位	0単位	4単位
合計	8単位	4単位	12単位		8単位	4単位	12単位

※英語を母語とする国からの留学生は、「留学生英語圏パターン」で履修。

外国語必修科目の履修について

1年次 パターンにより、履修方法が異なりますので、以下をよく読み履修登録してください。

<パターンA・B共通>

英語	English1 I / II	クラス指定があります。 4月1日に実施する ELPA 英語プレイスメントテスト α のスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト(Hoppiii)内の Web 掲示板で発表します。
	English2 I / II	
諸外国語	諸外国語1 I / II	クラス指定があります。 「経営学部ILAC科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	諸外国語2 I / II	

<留学生非英語圏パターン>

日本語	日本語1 I / II	クラス指定があります。 「経営学部ILAC科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	日本語2 I / II	
英語	English1 I / II	クラス指定があります。 4月1日に実施する ELPA 英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。
	English2 I / II	

<留学生英語圏パターン>

日本語	日本語1 I / II	クラス指定があります。 「経営学部ILAC科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	日本語2 I / II	
諸外国語	諸外国語1 I / II	
	諸外国語2 I / II	

2年次

パターンにより、履修方法が異なりますので、以下をよく読み履修登録してください。

<パターンA>

英語	English3 I / II	クラス指定があります。 1年次秋学期に実施する希望登録内容(詳細はP.学部一(38))と、1月(予定)に行われる ELPA 英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板で発表します。
諸外国語	<p>諸外国語3 I / II</p> <p>※フランス語選択の学生は、通常クラス「フランス語3 I」、「フランス語3 II」の代わりに、より高度な運用能力を身につける、意欲のある学生向けの重点クラス「<u>フランス語3 I / (インテンシブ)</u>」、「<u>フランス語3 II (インテンシブ)</u>」を履修することができます。</p> <p>※1</p> <p>※朝鮮語選択の学生は、<u>朝鮮語3B I / II</u>(クラス指定あり)または、<u>朝鮮語3C I / II</u>(クラス指定なし)を履修してください。両科目とも履修することもできます。 朝鮮語3A I / II (重点)は<パターンB>の学生が履修する授業のため、履修できません。</p>	<p>クラス指定があります。</p> <p>「経営学部ILAC科目時間割表」より、<u>自分のクラス名の該当科目</u>を探し履修してください。</p>

※1 通常クラス、重点クラスのいずれを履修しても、成績証明書には「フランス語3 I」または「フランス語3 II」と記載されます。

<パターンB>

英語	必修科目はありません。	選択科目は履修できます。
	<p>諸外国語 3 I / II</p> <p>※フランス語選択の学生は、通常クラス「フランス語 3 I」、「フランス語 3 II」の代わりに、<u>より高度な運用能力を身につける、意欲のある学生向けの重点クラス「フランス語 3 I / (インテンシブ)」、「フランス語 3 II (インテンシブ)」を履修することができます。※1</u></p> <p>※朝鮮語選択の学生は、<u>朝鮮語 3 A I / II (重点) (クラス指定あり) または、朝鮮語 3 B I / II (クラス指定あり)、または、朝鮮語 3 C I / II (クラス指定なし) を履修してください。※2</u></p>	<p>クラス指定があります。</p> <p>「経営学部ILAC科目時間割表」より、<u>自分のクラス名の該当科目</u>を探して履修してください。</p>
諸外国語	<p>諸外国語 4 I / II</p> <p>※諸外国語 4 I / II を履修することが原則ですが、その他の科目でも、諸外国語 4 I / II の各 1 単位 (計 2 単位) 分とすることができます。</p> <p>(例) <ドイツ語></p> <p>ドイツ語 4 I / II またはドイツ語表現法 I / II を履修する。</p> <p><諸外国語 4 I / II の単位となる科目></p> <p>科目が複数ある言語について、対象科目をすべて履修することも可能です。</p> <p>ドイツ語</p> <p>ドイツ語 4 I / II</p> <p>ドイツ語表現法 I / II</p> <p>フランス語</p> <p>フランス語 4 I / II</p> <p>フランス語 5 I / II</p> <p>フランス語視聴覚(入門) I / II</p> <p>フランス語視聴覚(初・中級) I / II</p> <p>ロシア語</p> <p>ロシア語 4 I / II</p> <p>中国語</p> <p>中国語 4 I / II (定員 30 名) ※3</p> <p>中国語視聴覚初級 I / II</p> <p>中国語作文初級 I / II</p> <p>スペイン語</p> <p>スペイン語 4 I / II</p> <p>時事スペイン語 I / II</p> <p>朝鮮語</p> <p>朝鮮語 4 A I / II (重点)</p> <p>朝鮮語 4 B I / II ※2</p>	<p>「経営学部ILAC科目時間割表」より、該当科目を探して受講してください。</p> <p>★諸外国語 4 I (春学期科目) の単位となる科目は「～I」(春学期科目)、諸外国語 4 II (秋学期科目) の単位となる科目は「～II」(秋学期科目) です。</p>

※1 通常クラス、重点クラスのいずれを履修しても、成績証明書には「フランス語 3 I」または「フランス語 3 II」と記載されます。

※2 パターンBの朝鮮語選択の学生は、以下のいずれかの組み合わせで履修してください。

	諸外国語3	+	諸外国語4
★①	朝鮮語3 A I / II (重点)	+	朝鮮語4 A I / II (重点)
②	朝鮮語3 B I / II または 朝鮮語3 C I / II	+	朝鮮語4 B I / II

★①の朝鮮語3 A I / II (重点)・朝鮮語4 A I / II (重点)はリレー方式で授業を行うため、セットで履修すべき曜日時限が設定されています。詳しくは以下の表にて確認してください。上記の組み合わせで履修しない場合には、試験時に不利益が発生する場合があります。注意してください。

★①を選択した学生は、以下の表のa~cのいずれかのセットで履修してください。

	朝鮮語3 A I / II (重点)		+	朝鮮語4 A I / II (重点)	
	曜日時限	担当者名		曜日時限	担当者名
a	月曜3時限	梁 禮先	+	木曜1時限	内山 政春
b	月曜5時限	梁 禮先	+	金曜5時限	内山 政春
c	水曜5時限	梁 禮先	+	金曜4時限	内山 政春

※3 「中国語4 I / II」は授業ごとに学部指定があります。必ず時間割表で確認し、履修してください。

<留学生非英語圏・英語圏パターン共通>

日本語	日本語3 I / II 日本語4 I / II	クラス指定があります。 「経営学部ILAC科目時間割表」より、 <u>経営学部指定の該当科目</u> を探し履修してください。
英語	必修科目はありません。 <留学生非英語圏パターン>	選択科目は履修できます。
諸外国語	必修科目はありません。 <留学生英語圏パターン>	選択科目は履修できます。

2年次英語・諸外国語選択希望登録<必須>について

外国語の履修にはパターン A とパターン B の 2 種類あります。どちらのパターンでの履修を希望するか、1年次の秋学期に希望登録を行います。(注)英語選択の場合には、授業内容のカテゴリー、教員の主な使用言語に関する希望登録を行います。回答に添えない場合もあります。

回答方法・回答期間は、以下をよく確認して、忘れずに回答してください。希望登録<必須>に回答しない場合には、パターン A または B どちらで履修するか、自動的に割り振りますので注意してください。

【注意 1】回答期間終了後の変更は一切できません。

【注意 2】「2017 年度以降入学の1年次生」が対象です。留級した学生は、前年度までの回答が全て無効となりますので、今年度も必ず回答してください。

(補足)英語選択の場合には、本希望登録内容と、1月(予定)に行われる ELPA 英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。必ず1月(予定)に行われる ELPA 英語プレイスメントテストαを受験してください。

回答期間 : 学科ごとに期間が異なります。アクセス集中を避けるため、必ず指定された期間で回答してください。

学部	対象学科	回答期間
経営	経営学科	10月8日(木)～10月10日(土)
	経営戦略学科	10月11日(日)～13日(火)
	市場経営学科	10月14日(水)～16日(金)

回答方法 : 学習支援システムから回答してください。

法政ポータルサイト(Hoppii)内の学習支援システムにログインする。

<https://hoppii.hosei.ac.jp>

【ログイン方法】

法政大学全学ネットワークシステムの統合認証システムの画面が表示されるので、ユーザ ID、パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。※法政大学全学ネットワークシステムの統合認証システムのログイン ID、パスワードがわからない時は、法政大学総合情報センター (<http://www.hosei.ac.jp/human/index.html>) まで問い合わせてください。

※回答方法の詳細は、追って法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板に掲載します。

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



履修上の注意(2016年度以前入学者)

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



履修登録の前に

※科目名についてはP.学部一(16)を参照してください。

1. 市ヶ谷基礎科目0群～3群

☆0群☆

- a. 2017年度までに「就業基礎力養成Ⅰ」の単位を修得した方は、「キャリアデザイン応用」を履修できません。

	2017年度までに 就業基礎力養成Ⅰの 単位を修得済み	2017年度までに 就業基礎力養成Ⅱの 単位を修得済み	2017年度までに キャリアデザイン演習 の単位を修得済み
キャリアデザイン応用	×履修できません	○履修できます	○履修できます

- b. 2018年度までに「法政学への招待」の単位を修得した方は、「大学を知ろう <法政学>への招待」を履修できません。
- c. 科目によって履修できる年次が異なります。
- d. 「基礎ゼミ」: 受講学部・学科を優先するものがあるので、時間割やシラバスに注意してください。
- e. 「情報処理演習」: コンピュータを使用する実習を伴う授業のため、事前に登録(定員超過の場合抽選)が必要です。詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)のWeb掲示板等で発表するので必ず確認してください。なお、**I/IIは連続履修する必要**があり、事前登録後の履修登録取り消しは、原則認められていません。
- f. 受講定員のある科目: 春学期第1回目の授業に出席し、担当教員の受講許可を得てください。選抜を行う場合、方法は教員が指示します。許可された学生のみ履修登録できます。選抜結果は法政ポータルサイト(Hoppii)のWeb掲示板で発表します。
- g. 単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。ただし、IとII、AとB等は異なる科目です。例えば、○○学Aと○○学Bであれば、どちらも履修することができます。

☆1群～3群☆

- a. 1年次生が市ヶ谷基礎科目1群～3群の科目を履修する場合は、学部・学科・クラスの指定があります。2～4年次生は、学部・学科・クラスの指定はありません。基礎科目時間割を確認し、選択してください。
- b. 「教養数学A/B」は1年次生以上が履修可能です。「基礎数学Ⅰ/Ⅱ」は2年次生以上が履修可能です。
- c. 単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。ただし、IとII、AとB等は異なる科目です。例えば、○○学Aと○○学Bであれば、どちらも履修することができます。
- d. 「サイエンス・ラボA」と「サイエンス・ラボB」は実験授業のため定員制です。そのため、履修登録前に仮登録が必要です。仮登録の詳細については、法政ポータルサイト(Hoppii)のWeb掲示板等を参照してください。
- e. 2015年度までに、「自然総合講座A」または「自然総合講座B」(あるいは両方)を履修して単位を修得したものは「サイエンス・ラボA」と「サイエンス・ラボB」のどちらも履修できません。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

	2015年度までに <u>自然総合講座A</u> の単位を修得済み	2015年度までに <u>自然総合講座B</u> の単位を修得済み	2015年度までに <u>自然総合講座A/B</u> <u>ともに</u> 単位を修得済み
サイエンス・ラボA	×履修できません	×履修できません	×履修できません
サイエンス・ラボB	×履修できません	×履修できません	×履修できません

f. 2015年度までに、「数学、情報を読むためにⅠ」を履修して単位を修得したものは「教養数学A」を、また「数学、情報を読むためにⅡ」を履修して単位を修得したものは「教養数学B」を履修できません。

なお、単位を修得していない場合は履修が可能です。

	2015年度までに <u>数学・情報を読むためにⅠ</u> の単位を修得済み	2015年度までに <u>数学・情報を読むためにⅡ</u> の単位を修得済み
教養数学A	×履修できません	○履修できます
教養数学B	○履修できます	×履修できません

※2020年度より ILAC 科目大人数授業において抽選制を実施します。対象科目や申込方法等の詳細は P. 学部- (31) ページを参照してください。

2. 外国語の履修(市ヶ谷基礎科目4群)

(法律学科・政治学科生対象)

外国語については、次の(1)～(3)のいずれかの方法で単位を修得することになります。なお、入学時に選択した諸外国語は、途中から他の外国語に変更することはできません。

- (1) クラス授業のみで全単位を修得する。
- (2) クラス授業+クラス授業以外の授業で単位を修得する。
- (3) クラス授業以外の授業のみで単位を修得する。

また、外国語の履修パターン(英語と諸外国語のどちらに重点を置くかの組合せ)は以下の3通りがあり、入学時に選択した履修パターンは変更することはできません。

	パターン①			パターン②			パターン③		
	1年	2年	合計	1年	2年	合計	1年	2年	合計
英語	4単位	0単位	4単位	2単位	0単位	2単位	0単位	0単位	0単位
諸外国語	4単位	2単位	6単位	4単位	4単位	8単位	4単位	6単位	10単位
合計	8単位	2単位	10単位	6単位	4単位	10単位	4単位	6単位	10単位

※留学生入試で入学した留学生は以下のパターンで履修します。

	留学生パターン①		
	1年	2年	合計
英語	2単位	0単位	2単位
日本語	4単位	4単位	8単位
合計	6単位	4単位	10単位

	英語を母語とする国からの留学生は 以下のいずれかで履修		
	留学生パターン②		
	1年	2年	合計
諸外国語	2単位	0単位	2単位
日本語	4単位	4単位	8単位
合計	6単位	4単位	10単位

クラス授業で外国語必修単位を修得する場合

1年次 パターンにより、履修方法が異なりますので、下記をよく読み履修登録してください。

<パターン①>

英 語	English1 I / II	クラス指定があります。 4月1日に実施するELPA英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト（Hoppii）のWeb掲示板で発表します。
	English2 I / II	
諸外国語	諸外国語1 I / II	クラス指定があります。 「経営学部基礎科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	諸外国語2 I / II	

<パターン②><留学生パターン①>

英 語	English1 I	クラス指定があります。 4月1日に実施するELPA英語プレイスメントテストαのスコアによりクラス分けを行います。 クラス分けは法政ポータルサイト（Hoppii）のWeb掲示板で発表します。
	English2 I	
※春学期のみ、英語を2科目履修します。上記以外の科目で履修することはできません。		
諸外国語	諸外国語1 I / II	クラス指定があります。 「経営学部基礎科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	諸外国語2 I / II	
日本語	日本語1 I / II（留学生のみ）	
	日本語2 I / II（留学生のみ）	

<パターン③>

英 語	必修科目はありません	選択科目は履修できます。
諸外国語	諸外国語1 I / II	クラス指定があります。 「経営学部基礎科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	諸外国語2 I / II	

<留学生パターン②>

諸外国語	諸外国語 1 I	クラス指定があります。 「経営学部基礎科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を探し履修してください。
	諸外国語 2 I	
※春学期のみ、2科目履修します。上記以外の科目で履修することはできません。		
日本語	日本語1 I / II	
	日本語2 I / II	

2年次 パターンにより、履修方法が異なりますので、下記をよく読み履修登録してください。

<パターン①>

英語	必修科目はありません	選択科目は履修できます。
諸外国語	諸外国語3 I/II(クラス指定のある授業) ※(注) 諸外国語3・I/II重点 は履修 できません	クラス指定があります。 「経営学部基礎科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の該当科目</u> を 探し履修してください。

<パターン②③><留学生パターン①②>

英語	必修科目はありません	選択科目は履修できます。	
諸外国語	諸外国語3 I/II (パターン②③両方)	フランス語 朝鮮語	「経営学部基礎科目時間割表」より、 諸外国語3 I/II重点 を 探して受講してください。
		ドイツ語 ロシア語 中国語 スペイン語	「経営学部基礎科目時間割表」より、 <u>自分のクラス名の「諸外国語 3 I/II</u> 」を探して受講してください。
		諸外国語4 I/II (パターン②③両方)	「経営学部基礎科目時間割表」より、 諸外国語4 I/II重点 を 探して受講してください。
		諸外国語5 I/II (パターン③のみ)	「経営学部基礎科目時間割表」より、 諸外国語5 I/II重点 を 探して受講してください。 ※「ドイツ、中国、スペイン、朝鮮語5 I/II」は下記の「クラス授業以外で 外国語必修単位を修得する場合」の方法で履修してください。登録は、「ド イツ、中国、スペイン、朝鮮語5 I/II」の登録番号で行ってください。
		日本語3 I/II (留学生パターン①②) 日本語4 I/II (留学生パターン①②)	クラス指定があります。「経営学部基礎科目時間割表」より、 <u>自分 の学部が指定されている該当科目</u> を探し履修してください。

クラス授業以外で外国語必修単位を修得する場合

諸外国語の必修科目は、『クラス授業以外で履修できる4群科目』で代替することができます。

履修可能な科目・代替可能な科目についての詳細はP.学部一(18)を参照してください。以下は注意
事項です。

- まず**春学期**の第1回目の授業時に出席し担当教員から受講許可を得てください。選抜を行う場合
もあります。**受講が許可された場合のみ履修登録が可能です。許可がなく登録した場合、無効
となります。**
選抜を実施し、結果を発表する場合には、法政ポータルサイト(Hoppii)のWeb掲示板で発表します。
- 『クラス授業以外で履修できる4群科目』は春学期、秋学期を合わせて通年で履修することが原則
となります。春学期のみ、秋学期のみを履修する場合は、**必ず春学期の第1回目の授業**で教員に
その旨を申し出て受講の許可を得てください。
- 受講が許可された場合、**クラス授業は履修登録せず、受講が許可された授業を登録してくださ
い。法政ポータルサイト(Hoppii)のWeb掲示板にて登録番号をお知らせしますので、必ずその
番号で登録してください。登録番号に誤りがあると、進級・卒業に大きな影響を及ぼす場合
があります。十分に注意してください。**
- 春学期科目(～I)に代替する場合は春学期科目を、秋学期科目(～II)に代替する場合は秋
学期科目を履修してください。**

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータルサイト(Hoppii)内の Web 掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



A. ILAC科目(2017年度～2018年度入学者)/市ヶ谷基礎科目(2016年度以前入学者)5群(体育科目)の履修

a. 科目名・履修年次・単位

科目名(系列)	履修年次	単位	
(必修科目) スポーツ総合演習	原則として 1年次に履修	2単位	3年次修了までに必ず修得する必要があります。
(選択科目) <2017年度以降入学生> スポーツ総合演習S <2016年度以前入学生> スポーツ総合演習	1～4年次	2単位	必修ではありません。2単位まで履修できます。 修得した単位はILAC科目/基礎科目の単位として卒業所要単位に計上されます。

b. 内容

体育についての演習(講義および実技)

c. 授業形態・実施場所・期間

授業形態	授業期間	種目	場所
通常授業	春学期または秋学期	複数の種目の複合	①市ヶ谷総合体育館 ②富士見坂校舎体育館

d. 保健体育ガイダンス(保健体育時間割の説明・受講授業の決定・仮登録)

対象	内容	日時	場所
2019年度以前入学生	必修科目の再履修ガイダンス ★必修単位未修得者は必ず参加する ★再履修で集中授業を希望する者もここに参加する	3月27日(金)13時～	富士見ゲート G502
全入学年度共通	選択科目のガイダンス ★希望者のみ参加する	4月6日(月)9時30分～	富士見ゲート G503

※ガイダンス日時・場所は変更になる場合があります。詳細は法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板にて確認してください。

e. 履修登録(日時等詳細は学部ガイダンスで説明)

①新入生の必修科目

Webの申請画面に事前登録されるので各自でWeb履修登録を完了してください。

②選択科目希望者

ガイダンスに参加して受講希望票を提出し、受講許可を得てから各自でWeb履修登録を完了してください。

f. 健康診断等

大学実施の健康診断を必ず受けてください。

g. 体育会入部者

授業の受講に代えて、体育会(準加盟部は除く)の活動により、5群科目の単位を修得することができます。

体育会活動による単位の修得は体育会での1年間の活動で2単位です。

在学中に体育会活動によって修得できる単位の上限は2単位です。

春学期履修登録期間内(部員本人の所属学部の指示する日)に申請手続きが必要となりますので、経営学部窓口にて用意してある所定用紙に記入の上、提出してください。

h. 連絡

体育科目に関わる連絡は、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板、市ヶ谷総合体育館1F掲示板で行います。

i. 心身の状態についての相談

体育の授業を履修するにあたり、心身の状態について心配があり、相談したいという場合は、保健体育センターにお問い合わせください。

※問い合わせ先 保健体育センター市ヶ谷体育課：電話03-3264-9498

B. 専門教育科目・連環科目の履修

■ 全般的な注意

・ 科目登録上の注意

専門教育科目は単位規定を充足すればどの科目を履修しても構いませんが、勉学上の観点からは、関連の深い科目群があるので、それらをなるべくセットで履修することが望ましいと言えます。

・ 春学期（秋学期）に寄せて実施される授業

セメスターの科目「～I/II」であっても、春学期または秋学期に寄せて授業が実施されることがあります。この場合、IとIIが連続する時限で開講されていても、それらは別々の科目となりますので、それぞれの登録番号と科目名を必ず履修登録してください。

・ 科目の表記について

原則として、「I・II」は通年科目を指します。また、「I/II」は、セメスター制科目を表しています。そのため、後者は「～I」や「～II」と別々に表現されることもあります。

■ 1年次

※1年次で履修可能な科目は限られています（P. 学部一（24）『2018年度以前入学者向け科目一覧と卒業所要単位（専門教育科目・連環科目編）』を参照）。履修可能な科目の諸注意を以下にまとめてありますので参照してください。

1. 専門基礎科目A群：クラス指定があります。専門教育科目時間割表から探して履修してください。
2. 専門基礎科目A群の「情報科学実習I/II」と情報関係科目の「プログラミング言語I/II」については入学年度によって科目名が異なります。下表を確認してください。なお、授業内容についてはWebシラバスを確認してください。

2015年度以前入学者	2016～2017年度入学者	2018年度入学者
情報科学実習I・II（通年科目） ※aコース、bコース、dコース、fコースの 4つのコースがあります	情報科学実習I/II ※aコース、bコース、dコース、fコースの 4つのコースがあります	情報科学実習I/II（aコース）
		情報科学実習I/II（bコース）
		情報科学実習I/II（dコース）
		情報科学実習I/II（fコース）
プログラミング言語I・II（通年科目） ※C言語コース、JAVAコース、COBOLコース、 BASICコースの4つのコースがあります	プログラミング言語I/II ※C言語コース、JAVAコース、COBOLコース、 BASICコースの4つのコースがあります	プログラミング言語I/II（C言語コース）
		プログラミング言語I/II（JAVAコース）
		プログラミング言語I/II（COBOLコース）
		プログラミング言語I/II（BASICコース）

※各科目とも在学中1コースのみ履修可能です。

※これらの科目は受講者数に制限がありますので、科目登録の前に受講申込が必要です。詳細は電算科目時間割裏面で、確認してください。

3. 入門外国語経営学I/II：履修登録の前に手続きが必要な場合があります。手続き方法は経営学部Web掲示板で確認してください（Webシラバスも参照してください）。
※2019年度以降は入門外国語経営学Iのみの開講となります（入門外国語経営学IIは開講されません）。
4. 入門演習I/II：履修登録の前に手続きが必要な場合があります。手続き方法は経営学部Web掲示板で確認してください（Webシラバスも参照してください）。
※2019年度以降は入門演習Iのみの開講となります（入門演習I・IIと入門演習IIは開講されません）。
5. 特殊講義：年度によって開講される科目が異なります。1年次で履修可能な特殊講義は限られていますので、Webシラバスを参照してください。
6. 連環科目：グローバル・オープン科目やグローバル教育センター設置科目の一部が受講できます。Webシラバスや時間割で、配当年次を確認してください。

■2～4年次

※2～4年次で履修可能な科目は、P. 学部一(24)『2018年度入学者向け科目一覧と卒業所要単位（専門教育科目・連環科目編）』で確認してください。履修可能な科目の諸注意を以下にまとめてありますので、参照してください。

◀専門教育科目▶

1. 専門基礎科目A群：クラス・学年指定がある場合と、無い場合があります。専門教育科目時間割表を必ずよく見てから、該当する科目を履修してください。自分が2年M組だからといって1年M組の授業を履修するわけではありません。必ず2、3、4年が受講できる授業を履修してください。
2. 専門基礎科目B群：2年生はクラス指定があります。専門教育科目時間割表から探して履修してください。3～4年生はクラス・学年指定がある場合と、無い場合があります。専門教育科目時間割表を必ずよく見てから、該当する科目を履修してください。
3. 専門基礎科目A群の「情報科学実習Ⅰ/Ⅱ」と情報関係科目の「プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ」・「データ処理論Ⅰ/Ⅱ」・「応用プログラミングⅠ/Ⅱ」については入学年度によって科目名が異なります。下表をご確認ください。なお、授業内容についてはWebシラバスを確認してください。

2015年度以前入学者	2016～2017年度入学者	2018年度入学者
情報科学実習Ⅰ・Ⅱ(通年科目) ※aコース、bコース、dコース、fコースの 4つのコースがあります	情報科学実習Ⅰ/Ⅱ ※aコース、bコース、dコース、fコースの 4つのコースがあります	情報科学実習Ⅰ/Ⅱ(aコース)
		情報科学実習Ⅰ/Ⅱ(bコース)
		情報科学実習Ⅰ/Ⅱ(dコース)
		情報科学実習Ⅰ/Ⅱ(fコース)
プログラミング言語Ⅰ・Ⅱ(通年科目) ※C言語コース、JAVAコース、COBOLコース、 BASICコースの4つのコースがあります	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ ※C言語コース、JAVAコース、COBOLコース、 BASICコースの4つのコースがあります	プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(C言語コース)
		プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(JAVAコース)
		プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(COBOLコース)
		プログラミング言語Ⅰ/Ⅱ(BASICコース)
データ処理論Ⅰ・Ⅱ(通年科目) ※データベースコース、コンピューター・グラフィッ クスコース、プレゼンテーションコース、 空間情報システムコース、 情報検索コースの5つのコースがあります	データ処理論Ⅰ/Ⅱ ※データベースコース、コンピューター・グラフィッ クスコース、プレゼンテーションコース、 空間情報システムコース、 情報検索コースの5つのコースがあります	データ処理論Ⅰ/Ⅱ(データベースコース)
		データ処理論Ⅰ/Ⅱ(コンピューター・グラフィックスコース)
		データ処理論Ⅰ/Ⅱ(プレゼンテーションコース)
		データ処理論Ⅰ/Ⅱ(空間情報システムコース)
		データ処理論Ⅰ/Ⅱ(情報検索コース)
ネットワーク論Ⅰ・Ⅱ(通年科目) ※通信ネットワークコース、ホームページコース の2つのコースがあります	ネットワーク論Ⅰ/Ⅱ ※通信ネットワークコース、ホームページコースの 2つのコースがあります	ネットワーク論Ⅰ/Ⅱ(通信ネットワークコース)
		ネットワーク論Ⅰ/Ⅱ(ホームページコース)
応用プログラミングⅠ・Ⅱ(通年科目) ※計量分析コース、統計コースの 2つのコースがあります	応用プログラミングⅠ/Ⅱ ※計量分析コース、統計コースの2つの コースがあります	応用プログラミングⅠ/Ⅱ(計量分析コース)
		応用プログラミングⅠ/Ⅱ(統計コース)

※各科目とも在学中1コースのみ履修可能です。

※これらの科目は受講者数に制限がありますので、科目登録前に受講申込が必要です。詳細は電算科目時間割裏面で、確認してください。

4. 学科専門科目：3年次から履修できます。自分の所属している学科の学科専門科目を中心に履修してください。他学科の学科専門科目も自由に履修できます。
5. インターンシップⅠ：これらの科目は受講者数に制限があります。インターンシップⅠの履修を希望する場合は、必ず第1回目の授業に参加し、担当教員の指示に従ってください。
6. 演習：2年次から履修できますが、一つの学年（留年した場合も含む）で複数のゼミに登録することはできません。また、学生は所属学科に関わらず、原則としてどの学科のゼミも自由に希望できます。ただし、教員によっては所属学科によって優先順位等をつける場合もあります。なお、入学年度や学年、ゼミの開講パターンによって単位数が異なります。次の表をご確認ください。

※新規開講ゼミは「1時限」、次年度以降は「2時限連続」が原則です。

2014年度以前入学者（年間科目）

学年	1時限の演習	2時限連続の演習
2年次	4単位	4単位
3年次	4単位	6単位
4年次	4単位	6単位

2015年度入学者（年間科目）

学年	1時限の演習	2時限連続の演習
2年次	4単位	6単位
3年次	4単位	6単位
4年次	4単位	6単位

2016年度入学者

学年	1時限の演習		2時限連続の演習	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
2年次	2単位	2単位	3単位	3単位
3年次	2単位	2単位	3単位	3単位
4年次	2単位	2単位	3単位	3単位

※2016～2018年度入学者はセメスター制が採用されていますが、原則春学期・秋学期連続で受講してください。

7. 外国語経営学科目：定員がある場合もあるので、秋学期から履修する場合でも、春学期第1回目の授業で確認してください（Webシラバスも参照してください）。ビジネス英語Ⅰ/Ⅱは初級クラスと中級クラスが開設されています。対象は2年次生以上です。ここでの初級・中級の区別は1年次に受験したTOEFL ITP®のスコアがおおむね400点（初級）前後か430点（中級）以上かといった区分によります。ビジネス英語Ⅰ/Ⅱは初級・中級それぞれのクラスの履修が可能です。ただし、同年次に初級・中級クラスを同時に履修することはできません。外国語経営学Ⅰ/Ⅱは3・4年次生を対象とする科目です。担当教員の専門領域に従って専門的な英語文献を読む授業ですが、分野は下表の通り区分されます。また、同じ分野でなければ、同一学年で複数履修が可能です。

科目名	分野
外国語経営学Ⅰ/Ⅱ（経営A）	組織・人事（人材）等
外国語経営学Ⅰ/Ⅱ（経営B）	会計（財務会計・管理会計）等
外国語経営学Ⅰ/Ⅱ（経営戦略A）	経営戦略、企業経営分析等
外国語経営学Ⅰ/Ⅱ（経営戦略B）	制度・歴史・企業論等
外国語経営学Ⅰ/Ⅱ（市場経営A）	マーケティング等
外国語経営学Ⅰ/Ⅱ（市場経営B）	ファイナンス、経済学、企業経営等

※2019年度以降は入門外国語経営学Ⅰのみの開講となります（入門外国語経営学Ⅱは開講されません）。

8. 特殊講義：年度によって開講される科目が異なります。科目によって履修可能年次が異なるので、Webシラバスを参照してください。
- 2017年度よりGlobal Business Program専門科目の多くが特殊講義として履修できるようになりました。履修可能な科目は、下記URLより『専門教育科目・連環科目配当表』で確認してください。ただし、履修希望者が受講定員を超えた場合は、担当教員の選考により履修者を選抜します。その場合、GBP学生が最優先の受講資格を有します。なお、履修に際しては次の英語能力試験スコアのいずれかを最低限満たしていることが原則となります。
- ・ TOEFL®iBT：61点以上（PBT：500点以上）
 - ・ IELTS（Academic Module）：band5.5以上
 - ・ TOEIC®：700点以上
 - ・ 実用英語技能検定：準1級以上



《連環科目》卒業するためには4単位以上修得する必要がありますが、履修上限は20単位です。

1. 法律科目：通年科目です。ただし「労働法」は隔年開講ですので、計画的に履修してください。
2. 公開科目：公開されている他学部の設置科目を2～4年次に履修することができる制度です。対象科目と講義概要はWebシラバスを参照してください。授業時間割・試験時間割や休講等の諸連絡については、当該学部の時間割・掲示板を参照してください。また、経済学部・社会学部・現代福祉学部の公開科目は、多摩地区での開講となります。履修の際には十分な通学時間を考慮のうえ、履修してください。なお、履修登録は他の専門教育科目と同様に行ってください。また、公開科目とは別に、2～4年次の成績優秀者を対象にした「成績優秀者の他学部科目履修制度」も2014年度から導入されました。この制度については、学部一（79）ページを参照してください。
3. 総合科目：年度によって開講される科目が異なります。2年次から履修可、または3年次から履修可の科目があるので、Webシラバスを参照して、何年生から履修できるのか確認してください。総合科目については、特にクラスの指定はありません。自由に履修をしてください。
4. グローバル教育センター設置科目：市ヶ谷共通項目を参照してください。

C. GBP 専門教育科目の履修

Taking Business Administration Courses in GBP

GBP(Global Business Program)の専門科目は本来、同プログラムの学生用に開講されていますが、日本語学位課程の経営学部生や交換留学生(ESOP)もその大半の科目を履修できます。具体的に履修できる科目は次頁の通り、また履修に際しての条件は以下の通りです。

1. 履修に際しての条件

- ・ 学生は授業に必要な英語力を有しているものとします。具体的には、次の英語能力試験スコアのいずれかを最低限満たしていることを原則とします。TOEFL® iBT: 61 点以上 (PBT: 500 点以上)、IELTS (Academic Module): band 5.5 以上、TOEIC®: 700 点以上、実用英語技能検定: 準 1 級以上。
- ・ 履修希望者が受講定員(教室サイズや担当教員の判断による)を超えた場合は、担当教員の選考により履修者を選抜します。その場合、GBP 学生は最優先の受講資格を有するものとします。
- ・ 経営学部生(日本語学位課程)がこれらの科目を履修する場合、科目によって「連環科目」または「特殊講義」の扱いとなるので注意して下さい。
- ・ 経営学部生(日本語学位課程)の科目と GBP 学生の科目で、同名科目の重複履修は不可です。重複履修不可となる科目は、以下の通りです。

国際経営論 I/II と International Business I/II

グローバル経営政略論 I/II と Global Business Strategy I/II

人的資源管理論 I/II と Human Resource Management I/II

組織行動論 I/II と Organizational Behavior I/II

Business Administration Courses in GBP are originally intended for GBP students. But students of the Faculty of Business Administration (Japanese-based degree) and foreign exchange students (ESOP: Exchange Students from Overseas Program) can take most of those courses. The specific courses to be taken are shown in the table below, and the conditions are as follows.

Conditions to take Business Administration Courses in GBP

- ・ Students should have enough proficiency in English to take a course. More specifically, they must satisfy one of the following English proficiency test scores in principle. TOEFL® iBT: 61 or higher (PBT: 500 or higher); IELTS (Academic Module): 5.5 or higher; TOEIC®: 700 or higher; or Eiken: quasi 1st grade or higher.
- ・ If the number of students who want to take a course exceeds the quota of a class (which may be depend on the capacity of a classroom or the judgement of an instructor), the instructor can select students who can take the course. In that case, GBP students have the highest priority.
- ・ When students of the Faculty of Business Administration (Japanese-based degree) take courses of GBP, they are classified into either “Renkan-Kamoku (Linkage courses)” or “Tokusyu-Kogi (Special Topic courses).” So please note the table below.
- ・ The four groups of Japanese/English courses below are almost the same so that students can choose either Japanese or English. It is not allowed to take both courses in one group.

1. 国際経営論 I/II and International Business I/II

2. グローバル経営政略論 I/II and Global Business Strategy I/II

3. 人的資源管理論 I/II and Human Resource Management I/II

4. 組織行動論 I/II and Organizational Behavior I/II

GBP専門教育科目の履修 / 開講状況一覧（2020年度）

履修年次	GBP科目名称	単位配当先科目群			開講予定		
		(2019年度以降入学生)	(2018年度以前入学生)		Spring 2020	Fall 2020	Spring 2021
		専門教育科目 グローバル・ビジネス/ GBP科目	連環科目 グローバル・ オープン科目	専門教育科目 特殊講義			
1年次～	<Introductory Courses of Business Administration>						
	Introduction to Organizational Management	■	■		●		●
	Introduction to Strategic Management	■	■			●	
	Introduction to Accounting	■	■			●	
	Introduction to Finance	■	■			●	
	Introduction to Marketing	■	■		●		●
	Introduction to Operations Management	■	■		●		●
	Introduction to Japanese Economy	■	■		●		●
	Introduction to Statistics	■	■		●		●
Introduction to Informatics	■	■			●		
Introduction to University Study (GBP生のみ)					○		

<Intermediate/Advanced Courses of Business Administration>

2年次～	Organizational Management I	■	■			
	Organizational Management II	■	■	●		
	Organizational Behavior I	■	■		●	
	Organizational Behavior II	■	■			●
	Human Resource Management I	■	■		●	
	Human Resource Management II	■	■	●		●
	Strategic Management	■	■			●
	International Business I	■	■		●	
	International Business II	■	■			●
	Global Business Strategy I	■	■		●	
	Global Business Strategy II	■	■			●
	Business Management in Japan	■	■	●		●
	Intermediate Accounting I	■	■		●	
	Intermediate Accounting II	■	■		●	
	Management Accounting	■	■			●
	Financial Statement Analysis	■	■	●		●
	Corporate Finance	■	■	●		
	Investments A	■	■			●
	Investments B	■	■			●
	Principles of Marketing	■	■		●	
	Service Management	■	■	●		●
	Distribution in Japan	■	■		●	
	Operations Management I	■	■		●	
	Operations Management II	■	■	●		●
	Principles of Macroeconomics	■	■	●		●
	Principles of Microeconomics	■	■		●	
Japanese Innovation Management	■	■	●			
Entrepreneurship	■	■	●			

<Special Topics in Management>

2年次～	Special Topics in Management A	■	■	●		●
	Special Topics in Management B	■	■	●		●
	Special Topics in Management C	■	■			

<Global Business Courses>

2年次～	Workshop I	■	■		●	
	Workshop II	■	■	●		●
1年次～	Special Topics in Global Business A	■	■		●	
	Special Topics in Global Business B	■	■		●	
	Special Topics in Global Business C	■	■			
	Internship (GBP生のみ)				○	
2年次～	Seminar (GBP生のみ)			○	○	○

※上記の開講予定は予告なく変更になることがあります。必ず最新の時間割表を確認してください。

◀GBP専門教育科目の履修について▶

GBP (Global Business Program) の専門科目は本来、同プログラムの学生用に開講されていますが、日本語学位課程の経営学部生や交換留学生 (ESOP) もその大半の科目を履修できます。具体的に履修できる科目は上表の通り、また履修に際しての条件は以下の通りです。

◀履修に際しての条件▶

・学生は授業に必要な英語力を有しているものとします。具体的には、次の英語能力試験スコアのいずれかを最低限満たしていることを原則とします。
 「TOEFL®iBT : 61点以上 (PBT : 500点以上) 」 「IELTS (Academic Module) : band 5.5 以上」 「TOEIC® : 700点以上」 「実用英語技能検定 : 準1級以上」

・履修希望者が受講定員 (教室サイズや担当教員の判断による) を超えた場合は、GBP学生、経営学部生 (日本語学位課程)、ESOP学生、の順に履修が優先されます。その他の英語プログラム (GIS, SCOPE, IGESS) や他学部の日本語学位課程の学生に対しては、担当教員の選考により履修者を選抜することがあります。